

「終わりよければ」いせの会 会報51

平成24年12月11日版

電話 05966・63・5226  
ファクス 05966・63・5236

考えますと、えらい勢いで幾つものことが回っているような具合で、会報の発行も気がつくと2ヶ月空いていました。

思い出しつつ、10月上旬からの流れにそって報告します。

定例懇談会 10月24日(水)の報告

縁(えにし)の家 19時〜21時

この回のみ定例の第2水曜日から変更。

出席者6名(男性3名、女性3名)でした。

9月の記録のまとめの現状を確認。

間近に迫った、10月27日(柏木・内藤)日赤緩和ケア病棟記念対談への協力を申し合わせました。内藤先生は後泊されるので、懇親会に「いせの会」が全面的に協力することと、当日のビデオ撮影担当も決定。

↓懇親会の席上、内藤先生から12月8日の「山梨ホスピス学校」へのお誘いあり。また、式年遷宮8月に参加の希望もあり。その際に、田辺鶴瑛さん(介護講談)の話題も聞き、同行される可能性も示唆。

翌朝、内藤先生と内宮に早朝正式参拝。

定例懇談会 11月14日(水)の報告

縁(えにし)の家 19時〜21時

出席者5名(男性2名、女性3名)でした。これからの、いせの会が目指すものが地域で最期まで暮らし、地域社会を未来につないでゆくためのものではないかと論議。そのため必要な情報は、リアリティのあるものでないと再確認。

田辺鶴瑛さんの介護講談を実現したい会員もあり、その条件作りを話し合いました。結論には至らず継続論議にしています。次回の懇談会は、忘年会的な性格でもいねと提案あり。(縁の家を利用)

自殺予防講演会 12月7日(金)

に参加の報告 みそのハートプラザ

保健所と市保健センターの保健師さんが企画され、講師が宮崎の市原美穂さん(母さんの家の創設者、ホームホスピス宮崎の代表者)でしたので、有志が参加しました。NPOが民家を借り受け、「ひとり暮らしを、とも暮らしとする」ように支えます。高齢者施設を作るより、地域を再生する働きがあり、多死社会の先の人口減少社会を見据えた試みです。この伊勢市にも合うと思えます。著書「かあさんの家の作り方」を購入し貸出可能です。どうぞ。

定例懇談会 12月12日(水) 予定

縁(えにし)の家 19時〜21時  
1年を振り返り、軽い食事会とします

- 懇談会は、当日ご都合がつく方ならどなたでも参加できます
- 気軽に伊勢市での身近な例を話し合います
- 事前申し込みは不要
- 「エンディングノート」は当会の大事な活動の形ですので継続します。
- 各会員からの行事よびかけも歓迎します

### 「終わりよければ」いせの会

〒516-0805 伊勢市御園町高向927 縁えにしの家

Tel 0596-63-5226 Fax 0596-63-5236

mail [homecare@amigo2.ne.jp](mailto:homecare@amigo2.ne.jp)

ホームページ <http://amigo2.ne.jp/~homecare/>

今回は9月2日の市民公開講座(食べられなくなったら、どうしますか)に参加され、連絡先を明記された方にも、お知らせとして届けています。

この会報が、ご迷惑な場合は右の連絡先にご一報下さい。